

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 3 年 10 月 28 日 (2021.10.28)

【公表番号】特表 2020-535042 (P2020-535042A)

【公表日】令和 2 年 12 月 3 日 (2020.12.3)

【年通号数】公開・登録公報 2020-049

【出願番号】特願 2020-517900 (P2020-517900)

【国際特許分類】

B 2 9 C 44/28 (2006.01)

C 0 8 J 9/04 (2006.01)

B 2 9 C 44/00 (2006.01)

B 2 9 C 48/13 (2019.01)

B 2 9 C 48/88 (2019.01)

【F I】

B 2 9 C 44/28

C 0 8 J 9/04 1 0 1

C 0 8 J 9/04 C E Q

C 0 8 J 9/04 C E T

B 2 9 C 44/00 E

B 2 9 C 48/13

B 2 9 C 48/88

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 9 月 15 日 (2021.9.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

スターポリマーを含むポリマーフォーム層であって、ポリマーフォーム層が最大 25 , 700 マイクロメートルの厚さを有する、ポリマーフォーム層。

【請求項 2】

ポリマーフォーム層の製造方法であって、

主外周面を有する回転ツールロール、及び前記ツールロールと前記押出ダイとの間にギャップを形成するように前記ツールロールの近くに間隔を置いて配置されたダイリップを有する押出ダイを準備することと、

発泡剤を含むスターポリマーを、前記ツールロールの前記主外周面の一部の上に導入することであって、前記主外周面の一部が、請求項 1 に記載のスターポリマーフォーム層をもたらすように前記ダイリップに近接している、導入することと、

を含む方法。

【請求項 3】

ポリマーフォーム層の製造方法であって、

主外周面を有する回転ツールロールを準備することと、

前記ツールロールと前記押出ダイとの間にギャップを形成するように前記ツールロールの近くに間隔を置いて配置されたダイリップを有する押出ダイを準備することと、

加圧ロールを準備することであって、前記加圧ロールは、前記ツールロールと前記加圧ロールとの間にギャップを形成するように前記ツールロールに近接している、準備するこ

とと、

押出チャンバー内で、発泡剤、ガス、又はポリマーマイクロスフェアのうちの少なくとも1つを含むスターポリマーに、油を注入することと、

前記押出ダイと前記ツールロールとの間のギャップに前記スターポリマーを押し出すことであって、前記スターポリマーが発泡して、請求項1に記載のポリマーフォーム層をもたらす、押し出すことと、

を含む方法。